



ながはた
長畑ひろのり News



発行：2010.11.01
- 市政報告 11月号 -
vol.039

ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp
http://nagahata.jp

phone：072-878-3205
fax：072-877-1194

こんにちは、ながはたです

ご無沙汰しております。8月、問題山積の市政を立て直すために、2度目の市長選挙に挑んだものの結果は完敗でした。ご支持頂いた皆様には、私の力不足の結果であり誠に申し訳ありませんでした。さて、8月22日の市長選挙告示日、立候補の受付と同時に市議会議員を自動失職した今は充電期間とし、一市民として暇のことを真剣に考え、市政について改めて勉強しています。今後も市政のために役立てるよう頑張りますので宜しくお願いします。今号は、市政のことに加えいままさらかも知れませんが、市長選挙時に伝えきれなかった私の市政に対する考えも他団体の記事を引用し記します。

「さわやか市民の会」質問について

市長選挙時に、さわやか市民の会より質問を受けました。その内容が書かれたチラシを手にされた方も多いと思います。この質問に対する私の答えは、今も変わりません。そこで、記事の内容の一部を以下にそのまま記載させていただきます。

Q：こんにちは。今年は市長選挙ですね。貴方は先日立候補を表明されました。4年前の選挙時には「財政再建」と「教育の再生」を強く訴えておられましたが、あれから4年経った四條畷市はどうなのでしょう？

A：4年前には多くの皆様にご期待をいただきました。力不足で及びませんでした。いただいた数々のご支援に感謝を忘れずこれまでやってまいりました。お叱りをいただくこともありました。市議会に送っていただいた結果、多くの実情に触れることができましたし、私なりに今後の展望を描く一助となりました。ありがとうございます。

Q：財政状況はどうなのでしょう？4年前と比べて改善しているのでしょうか？

A：一時的な臨時収入や基金の取崩し等により、持ちこたえている状況です。危機的な収支バランスの改善には至っておりませんし、一層の、いえ抜本的な改革を行なう必要があると考えています。

Q：どのような改革が必要なのでしょう？

A：私は前回出馬時から現在に至るまでずっと唱えていますが、「地域分権」によって、本当に必要な事柄に必要なお金を使っただけのように、使途をお任せして役所から切り離し、スリムな行政体を実現したいと思っています。役所にお任せいただくことは、全市的な対応に必要な仕事、たとえば教育や医療・福祉等は市全体の対応すべき業務でしょう。

Q：それで財政問題の抜本的な解決になるのでしょうか？歳出を最低限にするだけでは無駄の削減という範囲に留まると思うのですが？

A：もちろん、その範囲に留まっていたら「強い財政体質」は築けませんし、予算カットだけではご不便やご不満を生むだけでしょう。歳入を増やすという政策が必要なのはいうまでもありません。私が教育の再生を掲げるのは、ここに関連しているのです。歳入増には人口の増加、企業誘致、市内企業の成長等、お金が入ってくる仕組みを創らなければなりません。現在、観光収入を増やそうという施策がとられていますが、これも一つの材料であることは間違いありません。私はこの色々ある中の一つである人口増加が最も重要な要素と考えております。更に、人口を構成する年代別のピラミッドをできるだけ理想的な形にしたいと思っています。少子高齢化が叫ばれて久しいですが、全国的な傾向以上に進むようなことがあってはならないと思います。それには、子育て世代である20代～40代の年代層を多く呼び寄せることができるまちづくりが必要だと考えたのです。

Q：なるほど。教育の再生を訴え続けてこられたのは、単に教育を良くするというだけではなく、財政再建にも繋がっていたのですね。

A：まずは財政の健全化、強い財政体質を創ることが必要です。そのためには重視する分野に投入できる予算を増やさなければなりません。だからといって他の分野を一律にカットするとサービスレベルの低下によるご不満が爆発するでしょう。ですから、「地域分権」が必要なのです。また、これからの時代には予測のつかない変化が待っています。道州制や都構想等が話題となっておりますが、これらの変化は何らかの形でこの先実際に起こってきます。そうした中では、四條畷市が自発的に変わらなくても強制的に変化を求められる状況が出てこないとも限りません。あらゆる事態、変化にも対応できる強さを実現していく必要があります。

「自動失職の理由」について

8月22日の市長選挙の告示日に、私が市議を自動失職した理由を改めて簡単にですが説明させていただきます。

以下は、全て公職選挙法の規定に基づいたものです。

本市の市議会議員の定数は16名です。このうち3人の欠員となりますと、50日以内に補欠選挙を行わなければなりません。3人未満の欠員ですと50日以内の補欠選挙を実施する必要がないということです。

しかし、市長選挙（他の選挙でも）の10日前までに欠員が生じた場合は、その選挙と同時に市議の補欠選挙を行わなければなりません。土井前議員の行動はこれにあたります。

つまり、私と扇谷前議員が土井前議員と同じように議員を辞職していると、3人の市議補欠選挙が市長選挙と同時に進行していました。しかし、私は四條畷市議会の定数削減を議員になってからも常に訴え行動していましたので、公職選挙法を利用し議員定数削減の前例を作りたい、また、何よりも経費削減になるための行動を取りたいと考えました。

もし、仮に告示日の10日以内に議員辞職をしますと、市長選挙終了後、日を改め市議補欠選挙を行わなければなりません。これをする事で、市長選挙に落選しましても、すぐに議員へ復活するチャンスはあったのですが、これは私自身も納得できる選択ではありませんし、市として選挙経費も新たにかかります。

そして考えた末の行動が、市長選挙立候補の届出と同時に議員を自動失職するという方法でした。扇谷前議員も同様の行動を取られました。

これにより、補欠選挙は土井前議員の抜けた一人分を市長選挙と同時に行うのみで、議員定数は私と扇谷前議員の2人を欠員とした14人のまま来年4月の任期満了までいくことになります。

このことにより、2人分の約1,000万円の経費が削減されます。また、議員定数14人で8ヶ月市議会が動いたという前例も作ることができます。市の財源不足で市民の皆様にも負担をかけ、市職員も給料を下げている中、来年春の統一地方選挙後の新しい市議会議員構成メンバーで議論して頂きたい。そして、平成27年の統一地方選挙では議員定数を2～3名は削減しなければならないと考えます。

「府内小学校予算額」について

表面の質問の答えにおいて、私の教育に対する考え方はご理解頂けたと思います。また、議員活動中もこの件については動いてきました。その結果、少しは学校の予算額も増えてきています。しかし、東大阪市を除いた40市町村のうち、

本市は消耗品費32位、印刷製本費32位、図書費33位、備品費30位と散々たる結果です。

以下、大阪府衛星都市・郡小学校長会会長会がまとめた平成22年7月1日現在の工事費を除いた児童一人当たりの小学校予算額です。

(単位：円)

地区	市町村	消耗品費	印刷製本費	図書費	備品費
豊能	豊中市	4,633	580	1,254	1,789
	池田市	2,553	38	999	3,222
	箕面市	3,767	208	950	994
	能勢町	18,194	3,330	3,776	18,048
	豊野町	7,644	215	217	2,437
三島	吹田市	5,008	832	709	1,947
	茨木市	9,230	418	1,886	5,399
	高槻市	8,500	596	1,010	5,580
	摂津市	6,296	0	1,139	2,803
	島本町	7,175	836	3,120	3,434
北河内	守口市	4,223	249	1,118	1,542
	門真市	3,763	263	857	3,860
	寝屋川市	6,531	347	986	3,070
	枚方市	5,206	423	1,176	2,743
	大東市	2,464	519	2,034	973
	四條畷市	2,651	129	643	1,539
中河内	交野市	3,780	243	971	2,744
	東大阪市	0	0	0	0
	八尾市	1,531	35	920	318
	柏原市	3,166	224	897	1,370
南河内	松原市	5,936	246	984	2,149
	河内長野市	4,088	4	4,622	591
	富田林市	2,620	158	952	951
	羽曳野市	3,085	241	701	4,044
	藤井寺市	3,353	412	533	2,579
	大阪狭山市	3,385	217	861	2,626
	太子町	3,884	415	737	
	河南町	10,120	707	2,673	8,850
泉北	千早赤阪村	7,606	501	772	2,857
	泉大津市	2,091	108	506	3,801
	和泉市	4,744	417	1,096	1,309
	高石市	3,526	18	599	1,568
	忠岡町	2,020	252	841	1,346
泉南	岸和田市	2,680	397	923	2,262
	貝塚市	2,768	121	853	3,491
	泉佐野市	2,664	339	596	2,674
	泉南市	3,554	40	606	1,783
	阪南市	4,455	230	880	2,440
	熊取町	2,217	214	499	1,573
	田尻町 岬町	4,378 1,712	397 130	777 1,104	2,604 642